

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No13(溝上のぶつぶつ)

#7 探究的な学習が高大接続の共通項となり教養教育ともなる？ 高校でも教養教育か？

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。
公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています

ポイント

- ①90年代以降の大学教育における教養教育の衰退
- ②新学習指導要領における「総合的な探究の時間」の教科化
- ③高大を接続させる共通項としての探究的な学習
- ④「小論文」もここに合流か。しかし、条件を加える必要はある
- ⑤ 高校は詰め込み学習、大学は自律的な学習、と言われたかつての状況とは異なる
 - ※高校・・・社会に開かれた教育課程

No29

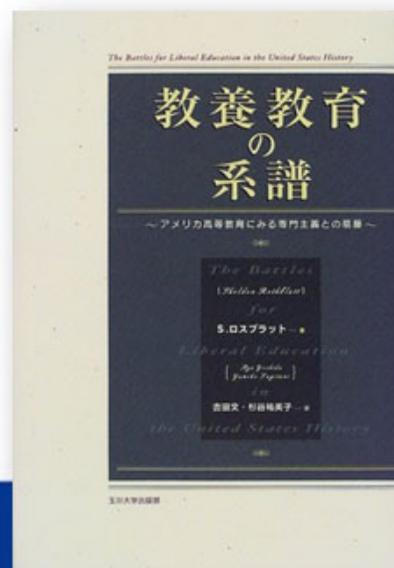
2022年9月7日配信

#1 日本の大学における

教養教育・一般教育の歴史

—吉田文先生(早稲田大学教授)にインタビュー—

これからの日本では、教養教育が大学、高大接続ゾーンで見直されていく。そのために知っておくべき知識！



2022年9月28日配信

No17(新著の企画)



#5 大堀精一監修

『マンガでわかる!

小論文 頻出テーマ編』

「知識がなければ自分の考えは書けない」
という主張は、小論文だけのことではないはず!

2022年5月31日配信

No18

「公教育」と「私教育」の観点から

学校を問い直す

—安彦忠彦先生(名古屋大学名誉教授)にインタビュー—



高校、大学は生涯学習機関として考えられないか！それを説明する概念が「公教育」に対する「私教育」である

ご視聴有難うございました
チャンネル登録をお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。
E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

